

ネイチャーセンター ガイド (84)

あー、最終号にしてしまいました、何かって？それは埼玉県から宝の山にやってきた自然体験・初体験の少年のお話。少年との体験秘話、少年とお母さんからのお手紙を掲載させていただいたシリーズでした。

しかし、昨年の暮れ今度はお父さんからお手紙が届きました。こうして子どもだけでなく親ともつながっていくことが、自然体験を伝えるうえでの大きな要因となっていくものと確信し、今年1年、この伝えることの大切さを追求していきます。また、この親子についてはこれからも親交を深めていきたいです。

★★★お父さんからのお手紙☆☆☆

拝啓、番長様

ご無沙汰しております。今年も残すところあとわずかになりましたがいかがおすごでしょうか。

先日はお手紙をいただきありがとうございます。ご返事が遅れまして申し訳ありません。

さて、宝の山での楽しかった魚つりを書いた作文を(財)埼玉県生態系保護協会主催の「私たちの自然を守ろう」コンクールへ応募したところ「会長賞」を受賞しました。本来、作文があまり得意ではない〇〇〇が受賞できたのは、宝の山での楽しかった事、番長殿から学んだ自然の大切さを素直に表現できたからだと思います。実はお願いがあるのですが、以前お話をしていた広報誌11、12月号を3部いただきたいのです。両方の祖母に送ってあげようと思います。



暖かくなったら宝の山にお伺いしたいと思っています。春に何か楽しい行事ありますか？

では、お身体にお気をつけてください。

敬具

☆☆☆募っています☆☆☆

「都留の歴史を今に刻み、今に残す」活動を展開していきます。

皆様がお持ちの様々な技術を記録と記憶に残し、後世に伝え、語り継ぐ使命をネイチャーセンターは感じています。自然と対話しながら培ってきた技術を今ここに・・・。

今回は、都留の食文化を探っていきます。家庭料理でいいのです。何か特別なものでなく、毎日、毎月食卓に並ぶ家庭の味を教えていただきたいのです。その家庭の味を宝の山で都会から訪れる子どもたちに提供し、食から都留を知ってもらおう企画をこの夏、考えています。是非とも、ご連絡をお待ちしています。

連絡・問合せ ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝祭日の翌日

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

生活習慣病予防について

看護職員再就業相談を開設

「世紀における国民健康づくり運動(健康日本)」を知っていますか？

—あなたの技術を再び社会に生かしてみませんか—

健康日本は、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病、歯周病といった生活習慣病の一次予防に重点が置かれています。一次予防とは食生活や運動、喫煙、ストレス、アルコールなど生活習慣を見直して生活習慣病の発症を防ぐことです。

—あなたの高齢社会を迎え、県民の健康と幸せな生活が一層求められています。こうした中で、看護職の働く場は、保健・医療・福祉領域などに拡大し、質の高い看護の提供が期待されています。

これを受けて、山梨県では健康づくり計画「健やか山梨」を策定し、寝たきりや痴呆にならずに生活できる期間(健康寿命)をのばす運動を推進しています。

◎現在就業していない保健師、助産師、看護師、准看護師免許所有者で、機会があれば再び看護の仕事に就きたいと考えている方、どこに相談したらよいかわからない方などを対象に相談窓口を設置しています。

2月1日から7日までの一週間を毎年「生活習慣病予防週間」と定め、この期間中、健康づくり相談や健康チェックを実施しています。お気軽にお越しください。

◎相談は保健師により随時行っています。
◎相談を通して知り得た個人情報厳守します。
お気軽にご相談ください。

実施期間 2月1日～7日

問合せ

12時～15時30分

健康福祉部 健康支援課

場所 県民情報プラザ1階

☎(22)7827

(旧西武百貨店)